

令和4年度 座間市立東原小学校 学校経営方針

令和 4年 4月 1日

校長 大谷 一

I 学校経営の基本理念

東原小学校の49年間の教育実践の歴史と伝統を継承し、創造性や可能性を大切にされた学校経営を進め、生涯にわたって学び続ける意欲と基礎・基本の定着を図り、思考力・判断力・表現力・想像力やたくましい実践力を育む教育活動の展開に努める。また、不易と流行とを的確に見極めつつ、開かれた学校・信頼される学校・魅力ある学校を目指していく。

II 学校教育目標

自ら学び 共に歩む

III スローガン、本校の目指す学校像・教師像・児童像

1 スローガン「みんなが通いたくなる学校」を目指して

2 目指す学校像

- ・安全で安心な学校
- ・一人ひとりを大切にする学校
- ・同じ方針ですすむ学校
- ・教職員と保護者が協力連携できる学校
- ・地域と連携する学校

3 目指す教師像

- ・信頼される教師
- ・愛情と熱意をもつ教師
- ・学び続ける教師

4 目指す児童像

- ・考えて行動する子
- ・思いやり助け合う子
- ・挑戦する強い子
- ・すすんであいさつする子

IV 今年度の8つの重点課題

- 1 「学習活動」を充実させる
- 2 読書をすすめ、書く力を伸ばす。
- 3 子どもの悩みや問題行動に適切な指導や相談をする。
- 4 約束・きまり・目標等を共通理解のもと指導する。
- 5 「早寝・早起き・朝ごはん(野菜)・外遊び」を推進する。
- 6 「挨拶」、「返事」がしっかりできる子に育成する。
- 7 学習指導要領を計画的に実施する。
- 8 地域の行事などに積極的に参加するようにすすめる。

V 4つのグループの取組

A グループ(考える子) [学習・管理部]

テーマ「学習活動の充実に向けた取組」

<1学期>

- ・評価の検討。
- ・ICT活用に向けた取組。
- ・「家庭学習にチャレンジ」の配付、実施。
- ・学習環境を整える。(清掃・教材室の整理)

<2・3学期>

- ・評価の検討。
- ・ICT活用に向けた取組。

<通年>

- ・with コロナの中で安全に配慮した教育活動を保障するための取組
(シールドやタブレット活用、授業内容の検討・変更など)

- ・「家庭学習にチャレンジ」アンケートの実施。
- ・清掃活動の見直し。
- ・図書教材の検討。

B グループ（助け合う子）〔支援教育・児童指導部〕

テーマ「みんなが通いたくなる学校に向けた取組」

< 1 学期 >

- ・道徳で「あいさつ」の授業を行う。
- ・生活目標の全校発表を行う。
- ・東原小のやくそくを見直し、共通理解をもって守らせていく。
- ・学期のはじめにエンカウンターに取り組む。
- ・あいさつ運動とともに下校指導に取り組む。（教師から率先してあいさつする。）

< 2・3 学期 >

- ・姉妹学級に取り組む。
- ・児童会・代表委員会を中心にあいさつの取組を検討し実施する。
- ・あいさつ運動とともに下校指導に取り組む。（教師から率先してあいさつする。）

C グループ（強い子）〔給食保健・安全管理部〕

テーマ「早寝・早起き・朝ごはん・外遊びができる児童の育成に向けた取組」

< 1 学期 >

- ・学校保健委員会に向けての取組（体育委員会）
- ・「新しい生活様式」をさらに徹底するための取組。
- ・安全点検・環境改善・感染症予防対策に努める。
- ・防災・防犯訓練の見直し・提案。

< 2・3 学期 >

- ・学校保健委員会の実施
- ・「新しい生活様式」をさらに徹底するための取組。
- ・安全点検・環境改善・感染症予防対策に努める。
- ・防災・防犯訓練を見直し・提案。

D グループ（明るい子）〔地域連携・教育課程・教務部〕

テーマ「保護者、地域と連携した教育課程の取組」

< 1 学期 >

- ・コミュニティ・スクールの推進。
- ・モジュールの充実と授業時数の確保。
- ・学習指導要領を軸としたカリキュラムの実施。
- ・学校だよりにおける学校情報の発信。

< 2・3 学期 >

- ・コミュニティ・スクールの推進。
- ・A・B・C グループとの連携による、よりよい教育課程の編成の推進。
- ・年間計画の実施状況の把握と反省に基づいた提案。